



正面の壁の一部がガラス張りの大講堂

花輪(鹿角市、十和田市、小坂(小坂町))の3高校が統合して4月に開校する「鹿角高校」の実習棟が完成し、鹿角市花輪の現地で20日、見学会が開かれた。市民や入学希望者ら約100人が訪れ、内壁や床に木材を多用し木のぬくもりが感じられる校舎を興味深げに見学した。

4月開校「鹿角高校」

木材ふんだん

実習棟が完成

見学会 大講堂などお披露目



花輪高敷地内に完成した実習棟の外観

鹿角高には普通科5学級、産業工学科1学級を設置。花輪高校舎を活用するため、現校舎の一部改

修や、新設する実習棟と多目的屋内運動場の工事を2025年度から進めてきた。

実習棟は鉄筋コンクリート3階建て、延べ床面積約3600平方メートル。産業工学科の実習で使う金属加工機などを設置する部屋などのほか、大講堂も整備。大講堂は正面の壁の一部がガラス張りの開放的な構造で、集会や講演会などを開く際に1学年が一度に入れるよう2300席を設けた。

多目的屋内運動場は23年度中に完成予定。鉄骨平屋建て約1千平方



参加者に動画で紹介した多目的屋内運動場の内部(鹿角小坂地区統合校開設準備室提供)

建て、人々が敷かれている。体育の授業のほか、野球部や陸上部など運動部活動で利用する。施工中で見学できないため、この日は動画で内部を紹介した。

残る部室棟改修や外構工事などは24年度に行う。総事業費は約40億円。

見学に訪れた花輪中3年の男子生徒は「充実した設備の中で勉強と部活を両立させたい」と目を輝かせていた。

(高橋秀明)